

微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法調査研究委員会  
非／微破壊試験技術の現状と課題整理部会（WG2）第7回議事録（案）

日 時：平成24年3月7日(水) 14:00～17:00

場 所：日本コンクリート工学会 12階 会議室

出席者：堤幹事長、鎌田主査、森濱委員、小林委員、小川委員、吉田委員（記録）

- 配布資料：1 土木学会コンクリート標準示方書【維持管理編】（鎌田委員）  
2 土木学会339委員会（鎌田委員）  
3 アンケート集計結果（鎌田委員）  
4 アンケート集計結果（鎌田委員）  
5 土木学会331委員会（小川委員）  
6 土木学会338委員会（小川委員）  
7 計測における信頼性（小川委員）  
8 土木学会335委員会、216委員会（森濱委員）  
8' 検査・点検マニュアルの概要（資料8の5章以降）（森濱委員）  
9 非破壊試験の適用方法の現状（森濱委員）  
9' 強度試験に関する破壊／微破壊／非破壊試験の比較表（森濱委員）  
10 分析技術の現状（吉田委員）  
11 コンクリート診断士調査報告書A（吉田委員）  
12 日本非破壊検査協会シンポジウム（小林委員）  
13 各手法の技術完成度（小林委員）

【議事録】

委員会報告書 WG2 担当分の目次（案）について、以下のとおりとする（各節・各項の名称は、会議における決定事項のまま表記した）。特記事項は、赤字で示す。

【目次】

2. コンクリート構造物の健全性診断技術に関する現状と今後の展望
2. 1 はじめに ←鎌田主査が執筆する。
2. 2 健全性診断技術に関する研究の現状
2. 2. 1 土木学会 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会  
（331委員会） ←「委員会」までの表記で止める。
2. 2. 1. 1 概要 ←2. 2節の各担当の書き出しは、「概要」にする。また、最終項は「まとめ」にする（必要な場合）。

・・・

- 2.2.2 土木学会 構造物表面のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会(335委員会)、歴代構造物品質評価/品質検査制度研究小委員会(216委員会)

- 2.2.2.1 概要

・・・

- 2.2.3 土木学会 コンクリート中の鋼材の腐食評価と防食技術研究小委員会(338委員会)

- 2.2.3.1 概要

・・・

- 2.2.4 土木学会 コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会(339委員会)

・・・

- 2.2.5 土木研究所・日本非破壊検査協会 検査・点検マニュアル

・・・

- 2.2.6 日本非破壊検査協会 RC部門(シンポジウム コンクリート構造物の非破壊検査)

- 2.2.6.1 概要 ←概要を追加する。

・・・

- 2.2.7 土木学会 コンクリート標準示方書【維持管理編】

- 2.2.7.1 概要

・・・

## 2.3 健全性診断技術の活用実態

- 2.3.1 コンクリート診断士調査報告書A(2009)の分析結果 ←名称はこの通りとする。

- 2.3.1.1 はじめに ←2.3節については、「概要」ではなく「はじめに」とする。

・・・ 最後に「まとめ」を付ける。「附表」は、「表」に変更する。

- 2.3.2 ○○アンケートの分析結果 ←○○の部分は、鎌田主査が考える。

- 2.3.2.1 はじめに

- 2.3.2.2 分析結果

- 2.3.2.3 まとめ

## 2.4 健全性診断技術の今後の展望

- 2.4.1 はじめに ←森濱委員が執筆する。

- 2.4.2 健全性診断における微破壊試験の有用性

...

2.4.3 健全性診断における微／非破壊試験法の技術完成度と今後の展望 ←「非／微破壊」ではなく、「微／非破壊」。

... 微／非破壊試験の定義については、「II 部のはじめ」「別の章」など、どこかに移動する。←このままで良いとの意見もあり、詳細については、未決定。

2.4.3.1 概要

...

2.4.4 微破壊試験をより一層活用するために（コンクリートの分析技術の活用）

...

2.4.5 微破壊試験をより一層活用するために（計測における信頼性の向上）

...

2.4.6 おわりに ←鎌田主査が執筆する。

【その他の変更点や注意事項】

- ・ 書式は、執筆要領に合わせる。余白の寸法などに注意。
- ・ 図表番号は、各項ごとに付ける。例) 図-2.2.1.1、表-2.2.7.1 ...。図一（全角）2.2.1.1（半角）。
- ・ 図表番号の付け方については、上記の通りとすることを、全体会議?で WG2 から提案する。
- ・ 文章中の図表の番号も MS ゴシックにする。
- ・ 執筆担当の最後に、[担当 ○○○○]を記載する
- ・ 森濱委員提出資料（資料番号：9）の N.1 に関しては、別の章で述べるよう、安田副委員長に提案する。
- ・ 森濱委員提出資料（試料番号：9）については、別の章に加える。

以上